

## 第4回 浅野健一が選ぶ講師による「人権とメディア」連続講座

# 松山“農業アイドル”自死で “パワハラ”加害を捏造したマスコミ ～報道被害社長が名譽回復の闘いを語る～

日時： 2月 28日(火)  
午後 6時～8時

講師： 佐々木貴浩さん  
(H プロジェクト株式会社 代表取締役)



佐々木さん代理人・あつみ法律事務所



渥美陽子 弁護士



松永成高 弁護士

当日の裁判の傍聴にいらして下さい！

名譽棄損訴訟 判決言渡し  
2月28日(火) 13時10分～  
東京地方裁判所 806号法廷

会場： スペースたんぽぽ

東京都千代田区神田三崎町 3-1-1 高橋セーフビル1F

主催： たんぽぽ舎講座会議 後援： 人権と報道・連絡会

連絡先： たんぽぽ舎 電話： 03-3238-9035

参加費： 800円 定員40名

※たんぽぽ舎あてに電話 03-3238-9035 又はメール tanpopo3238@yahoo.co.jp まで氏名と電話番号をお知らせ下さい。受付番号をお伝えします。

佐々木さんは約13年前に農業生産法人「H プロジェクト」を起業し、「愛媛の農業の魅力を守り、育てる」を理念とした活動の一環として、農業アイドル「愛の葉(えのは)Girls」を発足し約50人が活動に参加。2018年3月、一人の女性(16)が自死。その半年後、自死はパワハラなどが原因として、遺族が会社側に約9200万円の損害賠償を求めた訴訟を提起。遺族側の弁護士たちが事実無根の「記者会見」を行い、マスコミは更に大仰に報道した。会社の信用は地に落とされ、農業アイドルは解散。

東京地裁は2022年6月9日に遺族らの請求を棄却し、東京高裁も12月21日に控訴棄却の判決を言い渡した。遺族は上告せず、今年1月11日、控訴審判決が確定した。



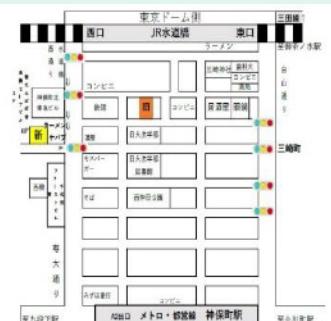
佐々木さんが2019年10月に遺族、弁護士などを相手に起こした名誉棄損訴訟の判決が2月28日午後1時10分に東京地裁806号法廷で言い渡される。

佐々木さんが「おびただしい数の脅迫、嫌がらせに怯える日々」を振り返り、佐々木さんを支えてきた渥美、松永弁護士が報道被害について解説する。

2022年12月21日 司法記者クラブでの記者会見（弁護士ドットコムニュースから）

## 佐々木貴浩さんからのメッセージ

この度はこのような機会を頂きまして誠にありがとうございます。私は、事件をエンターテイメントとして扱うテレビ、面白半分のゴシップ話に仕立て上げる雑誌による報道被害の恐ろしさを身をもって体験いたしました。「社会の木鐸」であるはずの新聞ですら、報道の公平性が担保されないのが現状です。裁判は弊社の主張が全面的に認められ勝訴が確定しましたが、そのことを報道したメディアはごく僅かでした。今回は、マスメディアによる被害を少しでも減らせるよう、皆様と一緒に考える時間に出来ればと思います。



## スペースたんぽぽ

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 3-1-1 高橋セーフビル1F

TEL:03-3238-9035 FAX:03-3238-0797

JR 水道橋駅西口より徒歩5分

<https://www.tanpoposya.com>

参加費:800 円(要予約、先着順。定員40名)

### 佐々木貴浩さん

1968年生まれ。86年、松山総合開発、大阪レジャー開発に勤務。93年、エム・コーポレーション、2006年、有限会社天音、11年、Hプロジェクトを設立。本当においしい野菜の差別化を図るために、松山市から農業経営改善計画の認定を受け活動を開始。農業を職業とする若者を増やすことが目標。食に関する事業やイベントに力を入れ、愛媛の美味しい食を地元の人たちにも改めて認識してもらうと共に、全国へPRする活動に力を注いでいる。今年1月から「愛媛新聞を糺す読者の会」会員。

### 渥美陽子 弁護士

1984年東京都生まれ、2006年早稲田大学法学部卒業、2008年東京大学法科大学院卒業、同年司法試験合格、2009年弁護士登録。西村あさひ法律事務所で不動産ファイナンス業務を行う傍ら、会社の支配権争いの紛争に関わったことを契機に、より多くの紛争案件に関わりたいと考え法律事務所ヒロナカに移籍。女優子息強制性交被疑事件を担当し不起訴獲得。2017年あつみ法律事務所を設立。2018年より農業アイドルの自殺に関する一連の事件を担当。

### 松永成高 弁護士

1986年東京都生まれ、2010年東京大学法学部卒業。IT業界、受験業界などで働きながら2012年司法試験合格、2014年弁護士登録。解雇、残業代、労災に関する労働事件など各種の民事・行政事件を扱う。東京弁護士会性の平等に関する特別委員会2021年度委員長。2018年から愛媛県の農業アイドルの自殺に関する一連の事件を担当。近時の関心は、不特定多数の者によるインターネット等での攻撃(炎上)や、これを煽動・誘発する表現行為の問題点など。

### 浅野健一さん

香川県生まれ。慶大経卒、72年に共同通信社入社。84年に『犯罪報道の犯罪』を出版。ジャカルタ支局長時代にインドネシア軍事政権から国外追放。94年から2014年まで、同志社大学大学院メディア学専攻教授。「人権と報道・連絡会」代表世話人。『客観報道』『天皇の記者たち』『安倍政権・言論弾圧の犯罪』など著書多数。2020年、下咽頭がん手術で声帯を失うが、AI音声などを使い講演を再開。たんぽぽ舎メルマガで連載中。